



【台北】 tàipéi

高雄までは新幹線で約1時間半、台中までは約1時間で移動することができる台湾最大の都市である首都台北。中心部にはランドマークである台北101のほか、アジアの主要なMICE施設のひとつである台北世界貿易センターがあり、郊外の南港展覧館との連携を図りながらMICE誘致に注力している。

●台北南港展覧館

2008年のオープン以降、台湾MICEの主要会場のひとつとされている台北南港展覧館。2019年3月、MICE産業のハブとしての地位を強化すべく新たにホール2が開業する。屋上にはイベント会場としても利用できるスカイガーデンが誕生する。昨年11月より予約を開始しており、既にCOMPUTEXやTAIPEICYCLE、TIMTOS、TAIPEIAMPANAなどの展示会でホール2の利用が予定されている。開業中のホール1は現在、稼働率が約53%。

ホール2は初年度の目標として21%を掲げており、さらに5年以内に30%まで引き上げることを目標としている。



建設中の南港展覧館ホール2

●台湾国際会議センター (TICC)

台北中心部、ランドマークである台北101の近隣に位置する台湾国際会議センター。年間850件以上のビジネスイベントが開催されている。

最大3,100名収容できるPlenary Hallのほか、ドレッシングルームやVIPラウンジが設置されているroom401などあらゆる会議に特化しており、展示会は南港展覧館で、会議はTICCで、というように協力体制をとりながら

MICE誘致を図っている。近年は駐車場所をETCを使って指示できるなど駐車システムにも工夫がされている。



room401

台湾 topics ① 「MEET TAIWAN」について

2016年、台湾で開催された国際会議の数は141。世界では32位、アジアでは7位の数となっている。「MEET TAIWAN」はさらなる国際MICEイベント誘致を目指し、台湾ではMICEの国内外での知名度の向上、国際ブランドとしての確立などを目的とした台湾のMICEブランド。

MEETTAIWANではマーケティングを強化するため、インバウンドに向け、地方自治体やPCO、PEOに向けたセミナーや企業参加型のキャンペーン「アジアスーパーチーム」、Famトリップなど、さまざまな取り組みを実施している。經濟部推動會議展覽專案弁公室のJessie Tseng氏は「今後も台湾MICEをよりPRするため、国内外でのプロモーションに注力したい」と抱負を語った。



Jessie Tseng 氏



【台中】 táizhōng

「台湾の京都」と言われ、米CNNテレビでは台湾一住みやすい都市として紹介された台中。2018年末には地下鉄が整備予定となっており、アクセスも強化されている。

●台中国家歌劇院

日本人建築家伊東豊雄氏による建築デザインで2016年オープンした劇場。大中小の3つの劇場を持ち、それぞれ最大収容人数は大劇場が2,007席、中劇場が794席、小劇場が最大200席。劇場のほかにも多目的スペースや野外劇場、屋上のスカイガーデンを持つ。cave（洞窟）

をイメージした大小さまざまな曲面壁のエントランスホールやホワイエは、劇場の外から演者が登場するような演出で、歌声や拍手が効果的に響くサウンドエフェクトを生み出す構造となっている。アート系イベントを対象に会場の貸し出しを行っており、イベント主催者向けに月に2回ほど劇場視察ツアーを開催している。



台中国家歌劇院エントランスホール



床には地下の冷気を利用したエコ空調システム



屋外劇場

格納時のステージ



●THE LIN HOTEL

台中国家歌劇院から徒歩5分程のビジネス街に位置する。3階、6階、7階にミーティングルームやバンケットルームを保有。3階ではフレキシブルに3部屋をつなげた最大立食2,000名対応可能なバンケットルームがあり、昇降できる収納型のランウェイ式のステージが設置されている。



【高雄】 gāoxióng

戦時中は故障した船の修理所となっていた港町高雄。港付近にある倉庫を改修してアート街区にしたほか、ポートターミナルや海洋文化・音楽センターなどが開業を予定しており、市立図書館や高雄エキシビジョンセンターとともに地域一丸となりMICE都市競争力を高めている。2017年には2020年に開催するICCA（The International Congress and Convention Association）会議の誘致に成功した。

●高雄エキシビジョンセンター

2014年にオープンした総面積2万5,100㎡の会場。吹き抜けの中央通路を挟み、1階の展示ホールフロアは9,100㎡の南館と、8,800㎡の北館で構成されている。また屋外には港に面したイベント会場、3階には16のミー

ティングルームを有している。年間の来場者数は約200万人で、開催されているイベントは政府関連のものも多く、MICEのうち62%が展示会で、そのうち90%が定期的展示会という。今年には台湾国際ポート見本市や台湾国際ファスナーショウなど隔年開催の展示会が開催された。



KEC-Waterfront MICE Venue

●Wei Wu Yingアートミュージアム

2018年10月に完成予定の劇場。マンタのようなデザインが特徴で、アート系のホールとしては台湾一の大きさとなる。2,260席のオペラハウス、2,000席のコンサートホール、1,250席のプレイハウス、470席のリサイタルホール、さらに1,000人収容可能な円形劇場を有する。施設は47haのWeiwuyingメトロポリタンパークの北東に位置する。建設地は旧軍事訓練基地跡地でもあることから、高雄市民にとって縁のある場所になる。アーティストの要望にこたえられるよう音響設備を充実させたことや、近年台湾では若者にオペラが流行っていることから、音

楽イベントを中心に国内外の人に利用してもらえる施設を目指す。



内観



外観

台湾 topics ② フラワー EXPO 開催

台中市政府は11月3日から2019年4月24日まで、2018台中フローラ国際博覧会を開催する。会場は台中市内の外埔区、后里区、豊原区に設けられる4つのエリア。メインコンセプトは「Discover GNP:Green, Nature and People」で、サブテーマに生産性、生命、生態学、バイオテクノロジーを掲げ、それぞれ4つのエリアでサブテーマに沿った展開を行う。博覧会は2012年にAIPH（国際園芸家協会）より誘致権を取得。台中市政府参議の孫鍾興氏は「世界的権威あるAIPHの同意で開催に至ることができた。博覧会を通じて海外の人たちに台湾・台中をPRして観光やMICEによる経済効果を生み出したい」と語り、800万人の来場を目指すと言意込みを語った。



Mascot



孫鍾興氏

台湾 topics ③ COMPUTEX 開催

台湾貿易センターは「2018年台北国際コンピュータ見本市（COMPUTEX TAIPEI 2018）」を台北市コンピュータ協会と共に主催する。会期は6月5日から9日の5日間（InnoVEXのみ6月6日から8日）で、出展企業数は世界28か国から1,602社、5,010ブースが出展予定。台北世界貿易センター展示ホール1・3、台北南港展覧館ホール1、台北国際会議センターにて行われる。ICTを網羅する同展の今回のテーマは6つで、「AI」、「5G（第5世代移動通信技術）」、「Blockchain（分散型台帳技術）」、「IoT」、「イノベーション&スタートアップ」、「Gaming&VR」から構成される。今回展は特にイノベーション&スタートアップには力を入れており、世界19か国から300社を超えるスタートアップ企業が集い、AI分野を中心に最新のテクノロジーを発信していく。

台湾貿易センター副秘書長の林芳苗氏は「2016年より台湾と日本は、両国の中小企業間の協力推進を行っており、台湾貿易センターと日本貿易振興機構では、東南アジアを中心とした第三国を開拓していこうと取り組みを進めています。それぞれ手を取りあうことにより双方の協力はさらなるwin-winを生み出すと信じています」と同展を通じた日台協力強化をアピールした。さらに2019年の開催については現在使用している会場に加え、新設される南港展覧館ホール2でも開催することを明らかにした。



会見のようす。写真中央が林芳苗氏

食のイベント・展示会へ 冷蔵ケース・厨房機器・フードサービス機器 レンタル

NIPPON 日豊機工株式会社



豊富な品揃えと、万全の搬入体制で、あらゆるニーズに迅速対応いたします

本社：〒331-0052 さいたま市西区三橋 6-1737-1
TEL.048-624-5777 FAX.048-624-6378
東京営業所：TEL.03-5377-7060 FAX.03-5377-7061

<http://www.nippoh-kiko.co.jp>

日豊機工